

奈良県の喫煙率データについて

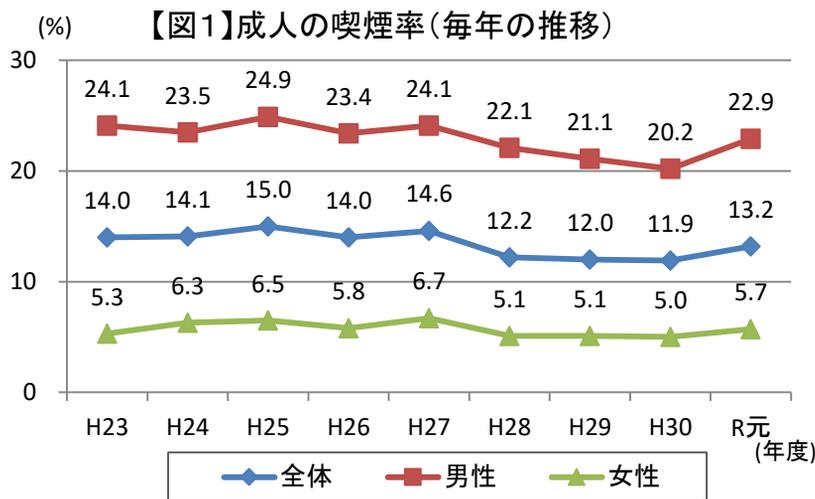
◆令和元年度なら健康長寿基礎調査

【調査概要】

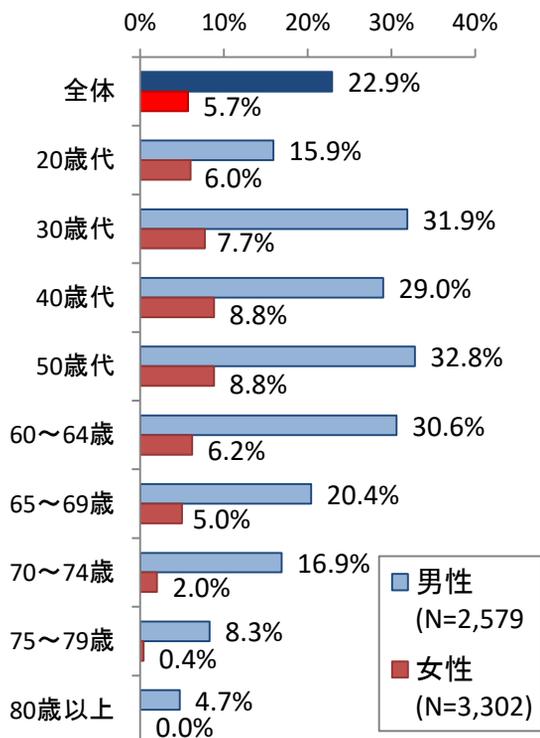
- 調査地域：県内全市町村
- 調査対象：令和元年7月1日現在で県内在住の20歳以上の方から無作為抽出した13,200人
標本抽出は、県内39市町村ごとの人口及び年齢構成に応じて設定
- 調査方法：郵送配布・郵送回収。無記名方式。調査期間中に礼状兼催促状を1回送付。
- 調査期間：令和元年10月23日～令和元年11月7日
- 調査項目：健康的な生活習慣の実施状況、医療と健診の受診状況、地域との関わりや地域活動の実践状況、回答者の属性

【調査回収状況】

- 配布件数13,200件
- 回収数 6,935件(回収率：52.5%)
- 有効回答数 6,931件(有効回答率：52.5%)



【図2】たばこを「現在吸っている」人の割合



○喫煙率は、男性22.9%、女性5.7%と上昇している。

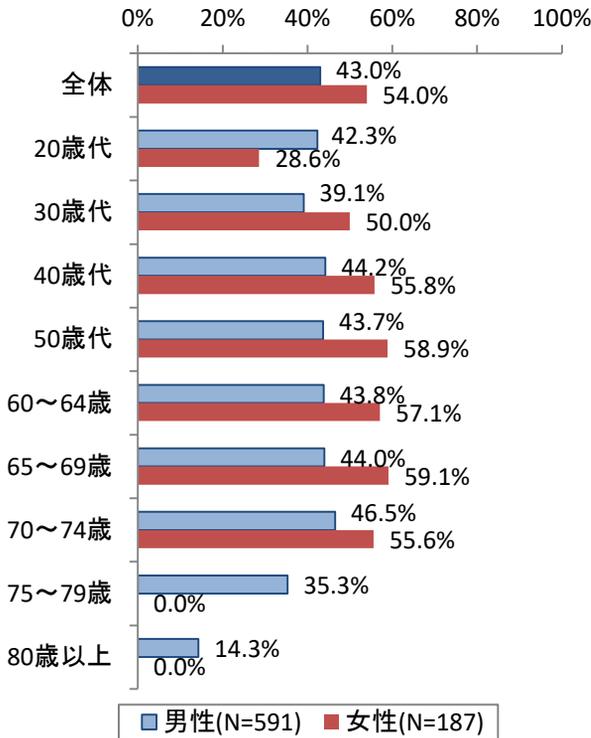
○喫煙している年代で最も多いのは、男性50歳代、女性40～50歳代である。いずれの年代でも男性が女性より高い。男女ともに30歳代～50歳代は高い割合である。

《なら健康長寿基本計画 目標値との比較》

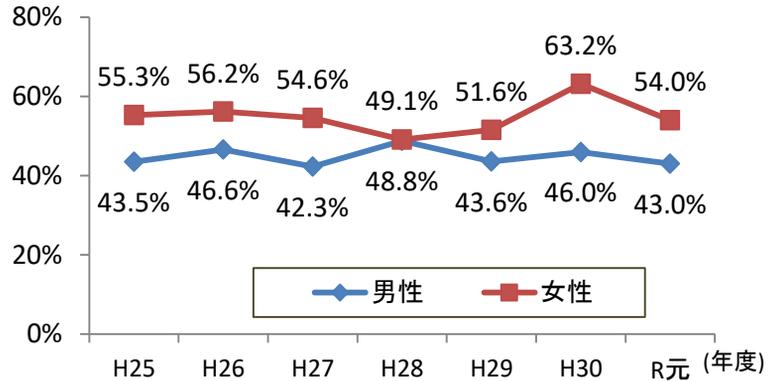
●成人の喫煙率

全体：13.2% < 目標値：9.9%
 男性：22.9% < 目標値：18.0%
 女性：5.7% < 目標値：2.8%

【図3】たばこを「やめたい」人の割合

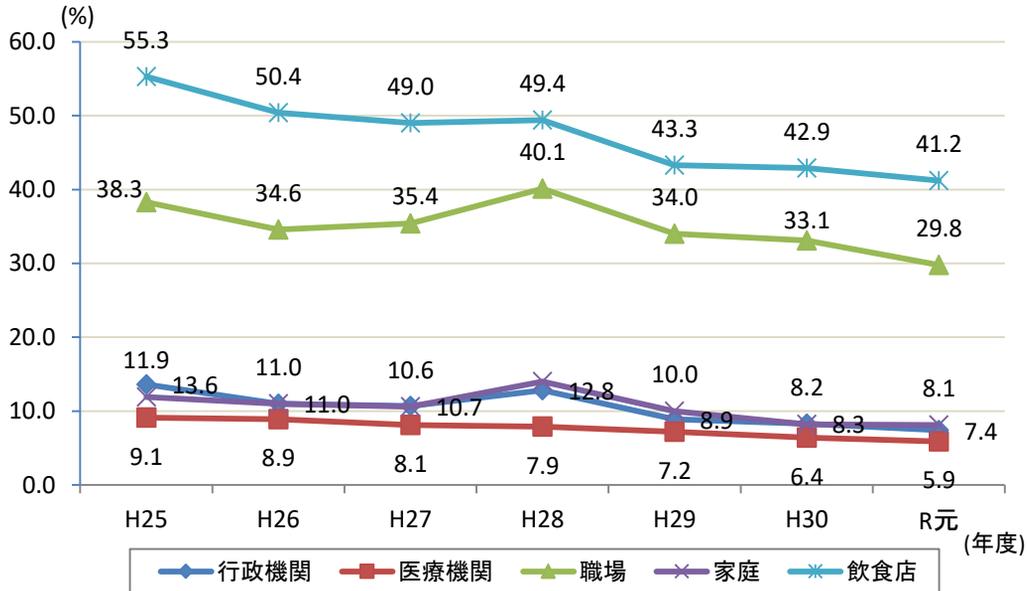


【図4】たばこを「やめたい」人の割合(毎年の推移)



○現在喫煙している人のうち、たばこを「やめたい」人は、男性が43.0%、女性が54.0%で女性が多い。男性は80歳以上が14.3%と最も少ないのに対し、女性の65～69歳が59.1%と最も多い。

【図5】日常生活で受動喫煙の機会を有する人の割合



《なら健康長寿基本計画 目標値との比較》

●日常生活で受動喫煙の機会を有する人

- ・行政機関…全体：7.4%〈目標値：0.0%〉
- ・医療機関…全体：5.9%〈目標値：0.0%〉
- ・職場…全体：29.8%〈目標値：12.4%〉
- ・家庭…全体：8.1%〈目標値：2.6%〉
- ・飲食店…全体：41.2%〈目標値：14.8%〉

※計算にあたり、現在喫煙者は除いている。

奈良県の喫煙率について

なら健康長寿基礎調査での喫煙率が平成30年度は11.9%、令和元年度は13.2%と1.3ポイント増加したことを統計学的に検証。

県統計分析専門員 我孫子教授（近畿大学経済学部）

【結果】

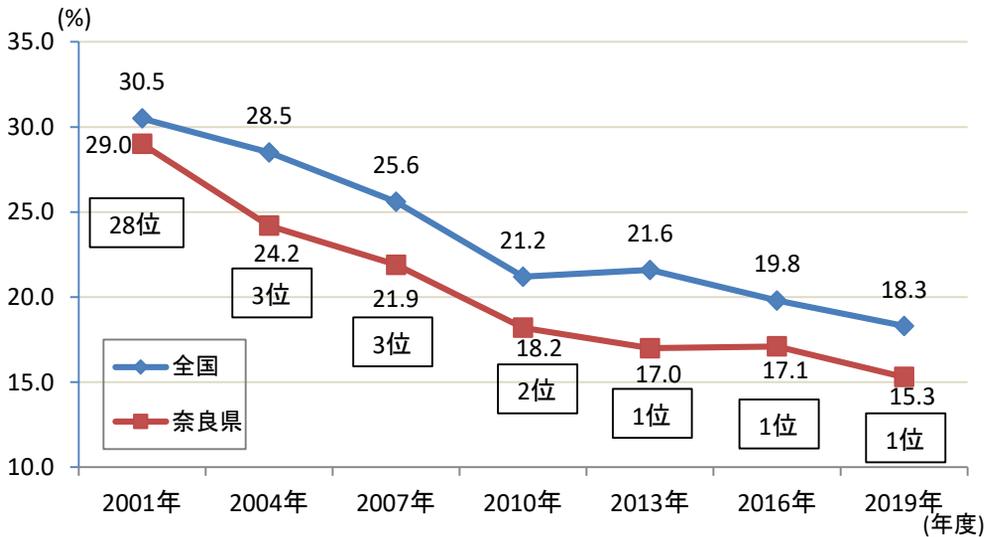
- ・喫煙率の値を用いて確率的に全体の平均(母平均)を推定する手法(区間推定)を活用し評価。
- ・信頼区間95%の確率で母平均が含まれる範囲を計算すると下記の①②の結果となる。

- ① 10.8% ≤ 喫煙率11.9% (H30年度) ≤ 13.0%
- ② 12.06% ≤ 喫煙率13.2% (R元年度) ≤ 14.34%

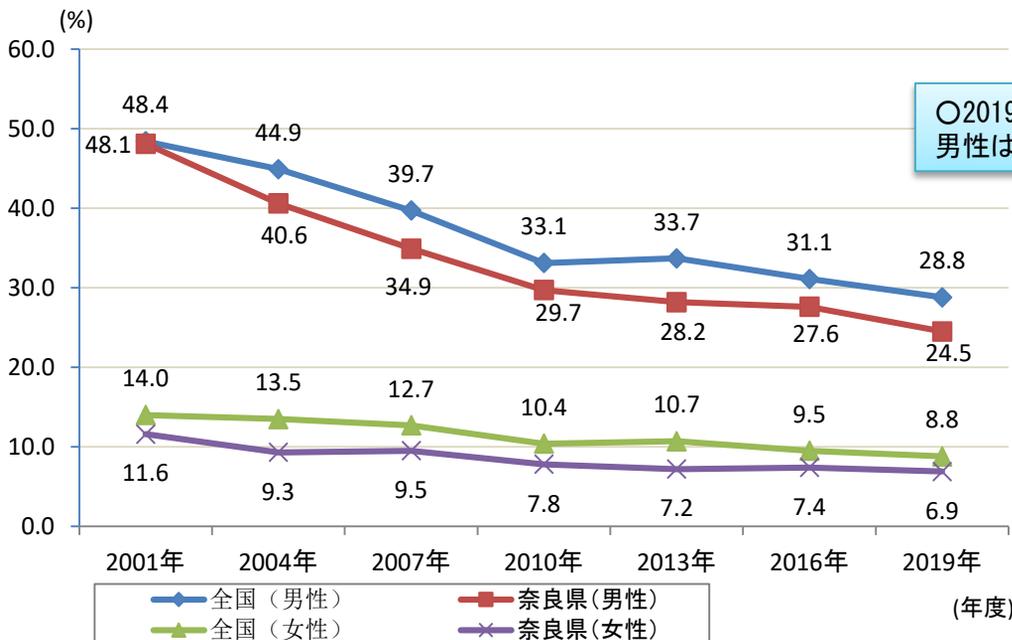
区間推定の結果、信頼区間が重なっているため、平成30年度と令和元年度の喫煙率1.3ポイントの差については、統計学的差は認められないといえる。

◆令和元年度国民生活基礎調査

【図6】成人の喫煙率の推移



【図7】男女別の喫煙率の推移



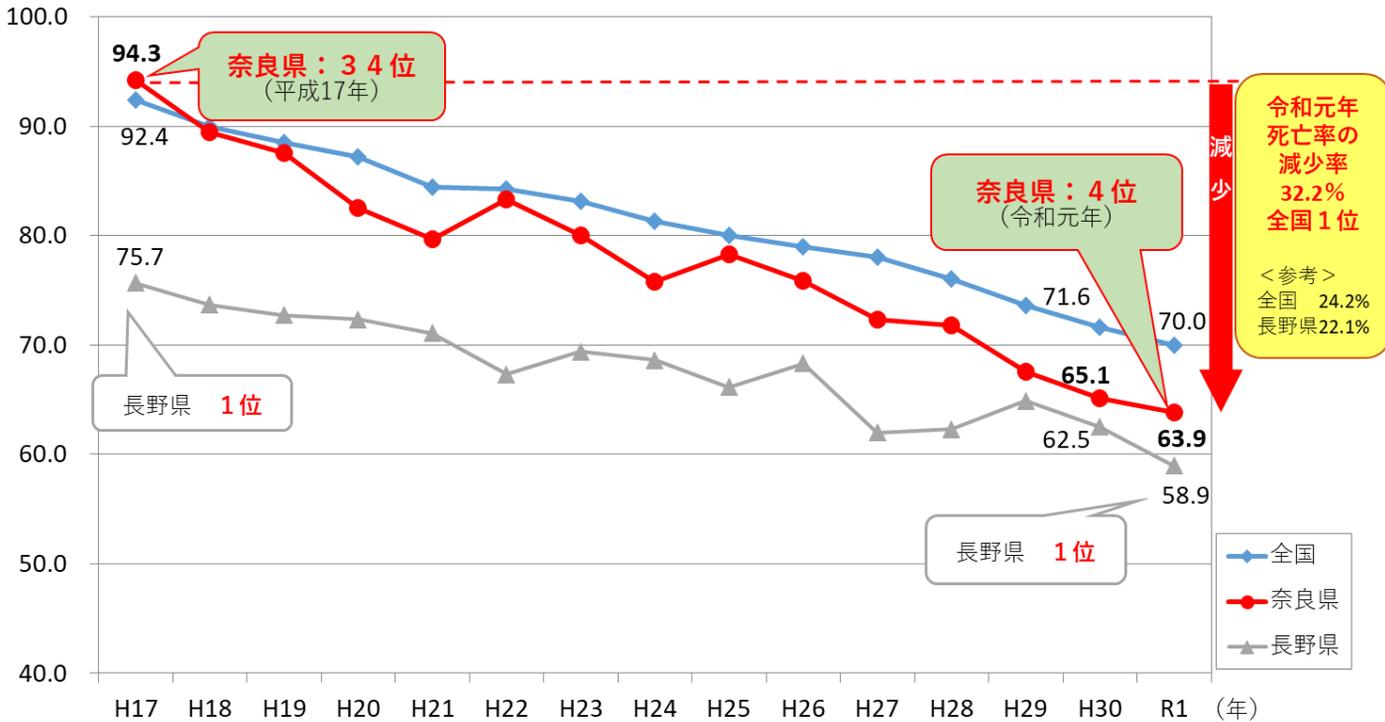
奈良県のがん死亡率について

奈良県のがん死亡率について

奈良県のがん死亡率は、平成17年は全国34位でしたが、平成30年に4位に改善し、令和元年も同順位を維持しています。
また、平成17年からの減少率を見ると、平成27年以降5年連続で全国1位となっています。

75歳未満年齢調整死亡率の推移 (悪性新生物・全部位)

(人口10万対)



年齢調整死亡率とは、死亡数を人口で除した死亡率を比較する際に、各都道府県の住民の年齢構成に差があることから、年齢構成の異なる地域間で死亡状況が比較できるよう年齢構成を調整した死亡率を「年齢調整死亡率」という。基準人口として、国内では通例、「昭和60年（1985年）モデル人口」（昭和60年人口をベースに作られた仮想人口モデル）を用いて人口10万対で表す。